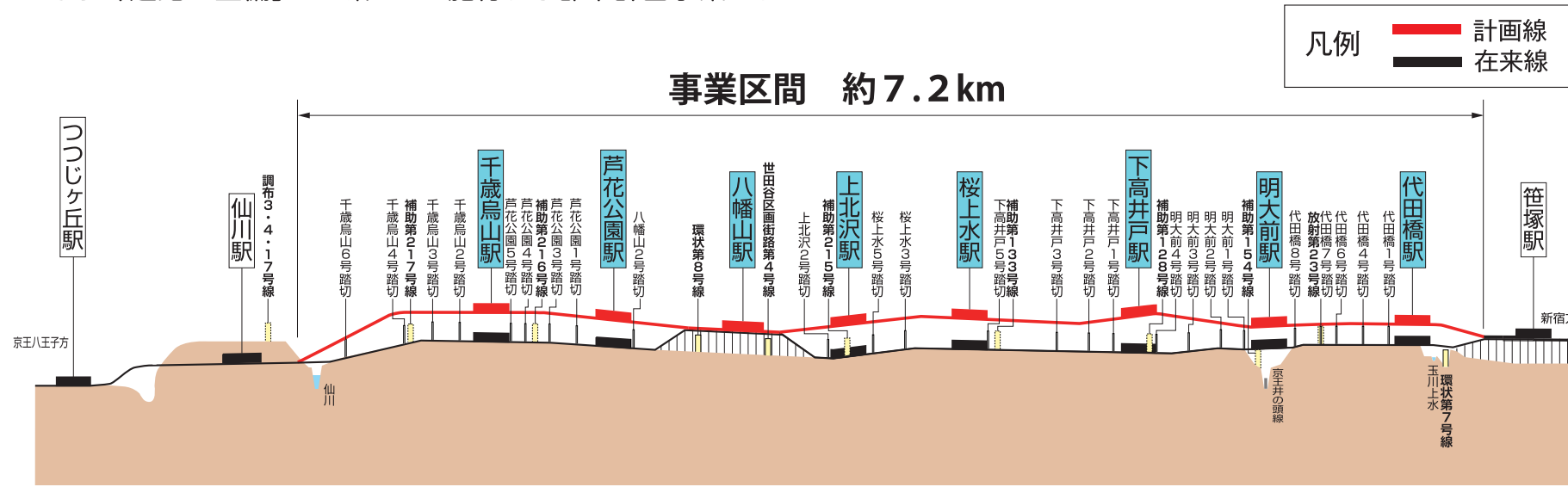


京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の概要

京王線を高架化し、25箇所の踏切を除却します。

東京都・世田谷区・渋谷区・杉並区・京王電鉄株式会社では、京王線の笹塚駅～仙川駅間約7.2kmの区間を高架化することにより、25箇所の踏切を除却し、あわせて側道を整備する、連続立体交差事業を進めています。

踏切の除却により交通渋滞が解消されるとともに、道路と鉄道それぞれの安全性が向上します。また、これまで鉄道により分断されていた地域の一体化が図られ、快適な街づくりに貢献します。なお、連続立体交差事業は「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。

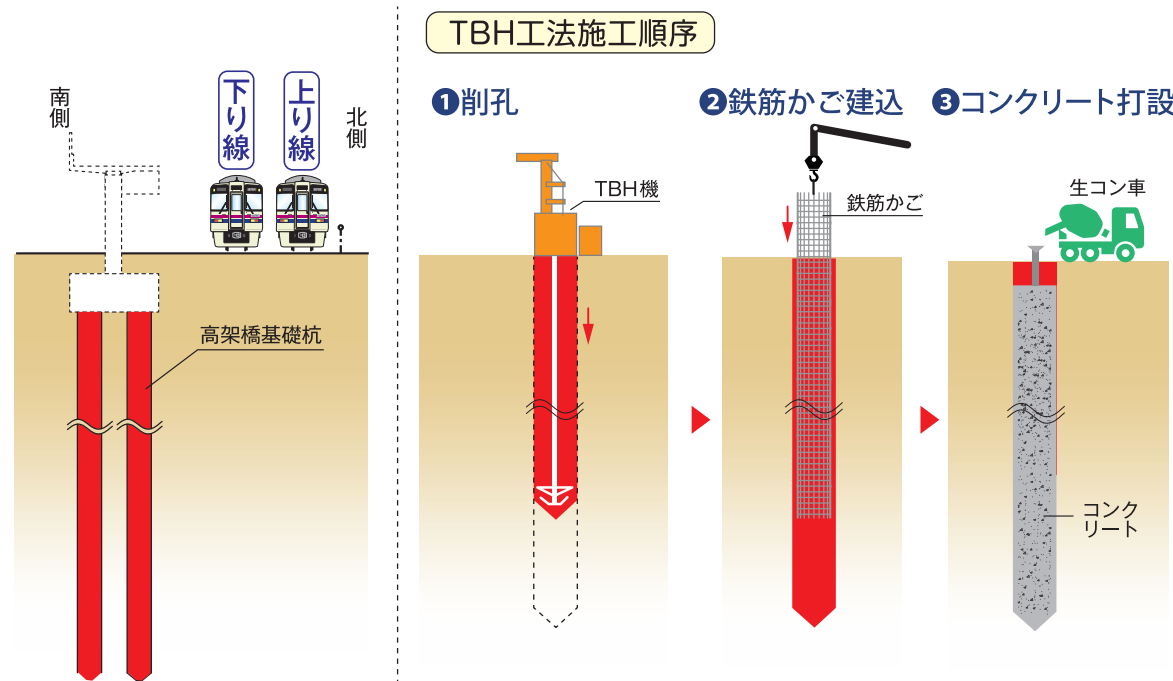


- 事業の効果
- 交通の円滑化 ●踏切がなくなり、交通渋滞が解消されます。
 - 安全性の向上 ●踏切事故がなくなり、道路と鉄道それぞれの安全性が向上します。
 - 地域の発展 ●これまで鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。●本事業にあわせて、都市計画道路や駅前広場などが整備され、鉄道とバスなど交通機関相互の乗り継ぎが円滑になるなど、地域の発展に寄与します。
 - 利便性の向上 ●各駅にエレベーター・エスカレーターを設置することにより、誰もが快適に利用できる駅になります。

高架橋基礎杭の構築



2019年度には、第2工区・第8工区において、TBH工法を用いた高架橋基礎杭の打設を進めています。TBH工法とは、杭打機(TBH機)を用いて地面を削孔し、鉄筋かごを穴の中に建て込んだ上で、コンクリートを流し込み、杭を構築する工法です。杭の長さは最長40m程度になるため周辺地盤に配慮しながら安全に施工を進めています。



工事の実施にあたって細心の注意を払い施工いたします。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

このパンフレットに関するお問い合わせは
京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 工務部 連続立体交差工事事務所
03-3329-5030(ダイヤルイン) 平日 9:15~18:00

Keio 高架化 Information 京王電鉄京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

Vol.1
2019.6.1発行



現在、京王線笹塚駅から仙川駅間約7.2 kmの区間を高架化することにより、25箇所の踏切を除却する、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を進めています。

◀事業の概要は裏面へ

2018年10月より、全8工区のうち4つの工区で工事に着手しました。

工事進行中の工区

- 第1工区(笹塚駅側取付部・代田橋駅付近)
- 第2工区(明大前駅付近)
- 第6工区(芦花公園駅付近)
- 第8工区(仙川駅側取付部)

▶2019年度工事の詳細は中面へ▶

